

まっなが通信

今こそ、防災力の強化が必須



命を守る行動3原則

自助

地震が発生した場合、どのように行動すれば良いのでしょうか？

避難

今年には阪神淡路大震災から30年という節目の年です。これまで東日本大震災、熊本地震、能登半島沖地震などを経験し様々な課題が浮かび上がってきております。その課題を解決するため、各自治体ではトイレ問題、飲食関連、ペット同行避難、医療連携など様々な取り組みがされてきております。

移動



こうした中、南海トラフ巨大地震が以前にも増し、約7割～8割の確率で起こると想定されています。そこで改めて、どういう行動をしなければならないのか。また、どういう場合に避難場所に行かなければならないのか。皆さまと一緒に確認していきたいと思っております。

松永

防災は日ごろからの準備と心構えが必要です。家族やご近所の方々と避難方法や連絡方法の確認をとりながら地域連携を強化して参りましょう！



避難所、広域避難場所、一時集合場所の違い？

避難所

地震等によって家屋が倒壊したり、火災による延焼のため自宅での生活が困難な方のために、区立の学校等を避難所として開設します。（生活する場所）



一時集合場所

避難を行う際に、町会・自治会単位で一時的に集合して様子を見る場所のこと。（例：学校のグラウンド、神社・仏閣の境内、公園、緑地、団地の広場等）

広域避難場所

震災時に発生する延焼火災から身の安全を確保するために、一時的に避難する場所のこと。（例：大井競馬場・しながわ区民公園、林試の森公園等）



行動3原則

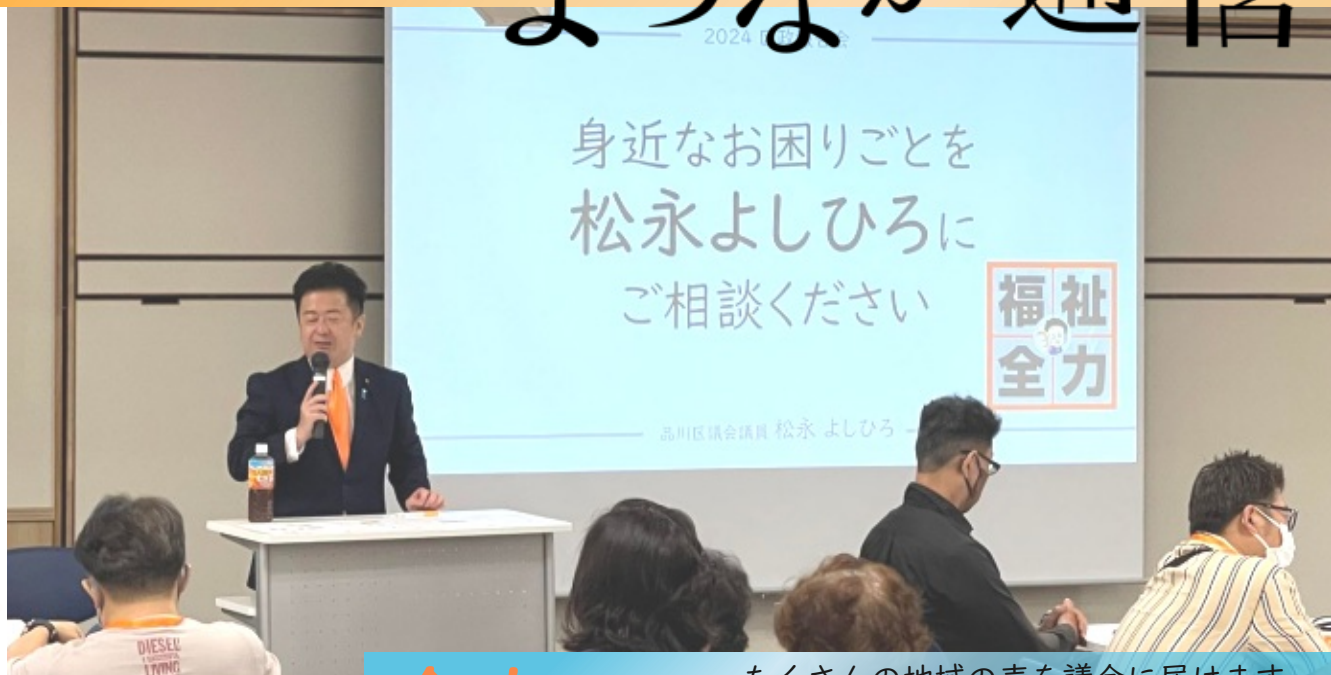
自助 自分の身の安全は自分で確保

避難 火事などに注意し近くの広域避難場所へ

移動 各自指定されている区民避難所へ



陳情報告



身近なお困りごとを
松永よしひろに
ご相談ください



品川区議会議員 松永 よしひろ

たくさんの地域の声を議会に届けます
全力で汗をかいてまいります。

ガードレールの横断幕 と落書きへの対策



携帯トイレの全戸配布

携帯トイレ（20回分）と防災ハンドブック
をセットにして配布しております。
配布期間は**2025年3月末まで**となっております。
まだ、届いていないところもあるか
と思いますが、少々お待ち下さい。



見通しの悪い交差点に看板設置



公園清掃（伐採/ゴミ収集）



手洗い水飲み場の修繕



福祉/防災/教育

各地域で**タウンミーティング**を開催して
おります。皆様からのご意見ご要望を伺い
に、これからも汗をかいてまいります。



ご希望がございましたら、
お気軽にご連絡いただければ幸いです。

松永よしひろ事務所

(連絡先) 品川区南大井1-13-16-1101
TEL: 03-3768-7550
FAX: 03-3768-7550
✉ yarutaisd041015@yahoo.co.jp

ご意見・ご要望お待ちしております。

松永よしひろ

昭和56年11月27日生れ(42歳) AB型
出身地: 福岡県福岡市

<学歴>
東福岡高等学校
福岡大学理学部応用物理学科
同大学院理学研究科応用物理学専攻
<趣味>
囲碁、魚釣り、茶道
ソフトテニス、ソフトボール
<職歴>
衆議院議員 松原仁(公設第一秘書)
品川区議会議員(4期)

役職経験
厚生(委員長)
建設(副委員長)
文教・区民委員・行財政改革
オリ・パラ特別委員会
青少年問題協議会委員
国際友好協会評議員
大井消防団部長(第二分団)
品川区ソフトボール連盟(顧問)
大井地区少年野球連盟(顧問)